

広報

第927号

# いながわ

11月

平成28年



たくさんとれたよ! おいしいおも 食べようね! (子育てグループおひさま)

## 特集 国際社会と猪名川町

ふるさと納税、町民向けに特産品お届け開始! ○ 8

猪名川町の実は…え!?ホンマ!?  
震災から命を守るため!今こそ!!「住まいの耐震化」 ○ 19

しまった・こまった・たすかった!  
液体入りスマートフォンケースの液漏れに注意! ○ 25

瞬(ときめき) 田村 果林さん ○ 26

私のオススメ★ 三草山に登る ○ 27

特派員報告 使った水はどこ行くの? ○ 28



秋を彩る一面のコスモス(木津)



# 国際交流協会

平成元年に発足した町国際交流協会は、身近で親しみやすい取り組みで、多くの人々が国際社会に触れ、交流できる機会を提供しています。

エイブル・アート 昨年は市庁舎に投影された作品がバララット市の夜を賑わせました。



9月4日に実施された英語スピーチコンテストの入賞者



和気あいあいの英会話教室



レストランで交流パーティー。料理教室で伝統料理も。

## 異なる文化、異なる人種とも接する機会を



町国際交流協会 会長 仁部 徹さん

日本の経済が縮小する中で、海外に目を向ける機会が多くなっています。私は大人になって初めて海外に行きましたが、協会では英会話や交流事業など、国際社会に触れるさまざまな機会を作っています。まずは協会の活動の中で、海外の方と接し、偏見を持たない国際感覚を持つことが大切です。そして、日本から飛び出して、海外の素晴らしい部分はどんどん吸収してほしいです。

**エイブル・アート**（本町での開催は毎年7～8月頃）バララット市と合同で開催する障がい児・者による作品展。作品は両市町で展示します。

**英語スピーチコンテスト**（毎年9月）中・高生を対象に毎年実施し、英語の表現力を競います。高校生の部ではさらなる語学力の向上を期待して、上位2人をバララット市へ派遣しています。

**英会話・日本語教室**（毎週）英会話教室は木・金曜日に、ALTを講師に中央公民館で実施します。年齢層も幅広く、夜間クラスには仕事帰りに通う人も。日本語教室は水曜日に実施。講師はボランティアで、講師の養成講座も実施しています。

**交流事業**（随時）パーティーや料理教室は、町在住の外国人と直接話したり、その国の文化や生活、料理などに触れる絶好の機会となります。

**姉妹都市高校生の受け入れ** バララット市から派遣された高校生を受け入れ、ホームステイなど様々な交流をします。

### 4人のホストファミリーを務めた宮崎家

最初は人種も言葉も違う来訪者に緊張していた子どもたちも、お別れのころには寂しくて泣くんです。幼いころから様々な文化や人々と触れ合えることは、とても良い経験だと思います。子どもも、外国の方にもすっかり慣れましたし、世界で活躍したい、英語を勉強したいという思いから、英語を習い始めました。



昨年滞在のアリソンさんと宮崎家

手紙やメールでやり取りをして、お互いに訪問しあったりと交流も続いています。子どもには、いずれ自分だけの力で旅をさせてみようかなと考えています。

# 国際社会と猪名川町



昨年日本から入出国した人は約3,600万人、町内在住の外国人は10月1日現在で152人。インターネット取引やSNSなど、個人で海外とやり取りする機会も増え、国際社会との関わりは日々の生活の中で重要性を増してきています。今回は、現代社会では欠かせない国際社会で生き抜くための町の取り組みや、その中で活躍するまちの人を紹介します。

- 猪名川高校事業など 兵庫県立猪名川高等学校 (☎ 766 - 0101)
- ALT (外国語指導助手)、姉妹都市中学生派遣事業など 学校教育課 (☎ 766 - 6006)
- 町職員派遣事業など 総務課 (☎ 766 - 8708)
- 町国際交流協会事業・入会、外国人窓口など 企画協働課 (☎ 766 - 8783)

外国人が安心して相談できる「外国人生活支援相談」。英語、ポルトガル語の通訳に対応。(第2庁舎2階、午前9時～午後4時)

9:00-16:00  
Foreigner Consultations Desk

文化、人種の境界なく活躍を 町は、さまざまな文化圏の人が不自由なく暮らし、お互いの価値観を認め合える「多文化共生社会」を目指しています。国際化する社会の中では、価値観の異なる人との交流からお互いに良いところを取り入れ、切磋琢磨することで、まちも人も成長することが求められます。このことから、町では、オーストラリアのバララット市との姉妹都市提携をはじめとする交流事業や国際交流協会の支援、教育、外国人向けの窓口など、様々な取り組みを行っています。



# イナガワ× バララット市

町は国際交流事業の一環として、昭和63年からオーストラリアの南東部にあるビクトリア州バララット市と姉妹都市提携を結んでいます。平成13年からは、毎年相互に職員を派遣し、まちづくりの取り組みなどの情報交換もしています。



「日豪の架け橋へ」  
ALTのジェームズ・ドゥーガンさんの授業の様子。猪名川町とバララット市の架け橋として貢献できたと語るジェームズさんは、12月に帰国後、オーストラリアの外務省採用試験を受ける予定。

## バララット市から 猪名川町へ



姉妹都市中学生派遣団 これまで200人以上の中学生が同市を訪問、交流しました。

**国際人として成長する**  
町立3中学校からは、毎年9人の生徒をバララット市へ派遣しています。国際交流協会ではスピーチコンテストで優秀な成績を収めた高校生を同市へ派遣しており、帰国後は成果報告を行います。また、猪名川高校でも留学制度や相互交流を通じてキャリア教育を実施しています。それぞれが滞在先で文化交流を行い、価値観の違う文化に触れ、見識を深め、将来を考えるきっかけとしています。猪名川町には、国際人として成長する数々のチャンスがあります。



猪名川高校交流事業  
送別会でSNSの連絡先交換。交流は続きます。



姉妹都市高校生派遣 国際貢献のため看護師を目指す臼杵 瑞希さん(右2番目)と言語を学び世界で活躍したいと語る森 愛実さん(右3番目)。



姉妹都市中学生派遣団 訪問先では、お互いの文化を学びあいます。

## 猪名川町から バララット市へ



観光客はマップを手に楽しんでお店探し  
バララット市のごみ処理施設完成予想図

バララット市からも、2年に1回職員が派遣されます。派遣職員は、町の取り組みから様々なアイデアを持ち帰り、事業に活用しています。

**スターフード、豪州上陸?**  
町内の飲食店が星と地場野菜にちなんだメニューを提供するスターフードプロジェクト。これを参考に、同市では地元のカフェやレストランが夏季限定で豪華なパフェを提供する「サンデープログラム」が誕生しました。スターフードプロジェクトのようにマップを手に商品を食べ歩き、行く先々で観光名所も一緒

に楽しめます。参加店からも好評で、今夏も実施予定です。

**ごみ施設、国崎の技術参考に**  
同市では、猪名川町を含む1市3町で運営する国崎クリーンセンターなどを参考にごみ処理施設の建設を計画しています。国崎では、ごみを焼却して百分の1の大きさに圧縮する新技術を採用しており、同市はこの技術を参考に、施設の資源再生効率の向上を目指します。施設は、廃棄物処理の際のエネルギーを商業施設に活用し、雇用創生と電力供給コスト削減にも役立てられます。

### 視野広げ、知識を吸収

2年に1回、バララット市の先進的な取り組みなどの研究のため、町職員を派遣しています。職員は共通の問題の解決手法や、海外ならではの考え方を吸収し、帰国後報告会を行い職員間で情報共有します。制度の違いなどによりすぐに実現できない事業なども、今後活用する方法を模索します。今年度の派遣では、地域団体の取り組みや経済活性化事業についての事例を学びました。

### 頼もしいALTたち

全ての中学校にALT(外国語指導助手)を配置できる自治体は多くない中、本町では提携事業の一つとして、同市から派遣された2人のALTが町立3中学校で活躍しています。信頼できる人材が集まるのは、姉妹都市交流の成果といえます。



まちの自然が大好き  
ALTのパトリック・ゼティさん

### ワインで経済交流

2都市の交流は、行政だけでなくとまりません。平成26年に交わされた「猪名川町・バララット市姉妹都市経済交流に関する覚書」では、民間での経済交流を通して両都市の友好関係の発展に寄与することが約束されました。経済交流の一つとして、道の駅いながわでは、同市内の農場で作られたワインを販売しています。



販売しているのは、ピノ・ノワール種の赤ワイン。フルーティで肉だけでなく、魚にも合う酸味が特徴。ワインだけで楽しむのもオススメ。



# 猪名川町の人々、



**留学生受け入れで世界が身近に**  
 学生時代に2回、バラット市の学生のホストファミリーに、中学では英語教育の一環で同市の人と文通をしたりと、様々な機会をいただきました。おかげで海外を遠くに感じたことはなかったですね。英語を勉強する動機にもなりました。昔から、インテリアを学び仕事にしたいという気持ちがずっとありました。そんな時期に、イギリス滞在中の友人を訪ねると、ホストマザーが「やりたいならやればいいじゃない」と背中を押してくれました。それをきっかけに、語学とデザインを学ぶためオーストラリアへ渡りました。

## 異なる価値観に触れ、人生を豊かに

**ウインドスト 順子さん (39)**

中谷中学校出身

旧姓宮本。2児の母として仕事と家庭の両立を目指し、メルボルンにあるデザイン事務所を夫婦で経営。



仕事に家庭に充実の日々

**Break your comfort Zone** (居心地が良い場所にとどまり続けては成長はない、進歩するには挑戦を「の意」という言葉があります。多くの人と出会い、百の価値観を理解できるようになれば、人生は豊かになります。耳を傾けることは、異文化圏の人々と付き合う上で欠かせません。違う価値観に出会い、自分の殻を破ることは、キャリアにおいても、自己啓発においても大切なのだと思います。

**出会いが人生を変える**  
 れました。経験になったのはもちろんですが、経営者夫婦の人生の楽しみ方や仕事と生活のバランスの取り方は、私の価値観を大きく変えました。帰国後も、その夫婦のことが頭から離れません。日本だとそのような働き方は難しいので、東京で2年経験を積んだ後、メルボルンの建築事務所に就職しました。現在は仕事で出会った夫と事務所を立ち上げ、育児をしながら働いています。憧れの夫婦と違って忙しい日々ですが(笑)。



Windust  
Architecture  
+ Design



猪名川町に住むすべての人がお互いの文化や価値観を尊重し、国際社会でさらに活躍する力を身に着けることを、町はこれからも応援していきます。

Inagawa Town continuously will support the residents to develop wonderful knowledge of being the part of international community successfully respecting each other and different culture.

# 世界で活躍する



**姉妹都市だからこそ、留学も安心**

幼いころから海外でダンスをしたいという思いがありました。ただ、英語がすごく苦手だったので、中学生のころはスピーチコンテストに出たり、猪名川高校では長期留学制度を利用してバラット市のマウントクリア校に通ったりと色々なチャレンジをしてきました。追い込まれなげや上達しないと思って(笑)。母は「多くのことを経験し、色々なことを感じ取ってほしい」と応援してくれました。姉妹都市だからこそその機会だったと思いますし、母も安心感は大きかったと思います。勉強すればするほど、もっと色々なことを吸収したくなって、留学期間終了後、猪名川高校から、そのまま編入しました。今はシェアハウスをしながら学校に通っています。

## 広い世界に出た分だけ、選択肢は広がる

**首藤 若葉さん (19)**

六瀬中学校出身

ニューヨークでレッスンしていた姉に憧れ、国際的に活躍するダンサーを目指す。



地元メディアでも紹介

**世界で活躍するために**  
 ダンスで生きていくなら、海外の方が選択肢も、支援体制も充実しているように感じます。家族は、卒業までは援助してくれました。卒業後は自分でお金を貯めてアメリカでレッスンを受け、世界を股にかけるダンサーになりたいです。もし今、将来について迷っている人がいれば、勇気を持って飛び出してほしいです。広い世界には、きっと今より多くのチャンスがあります。自分が楽しいと思うことを買ってください。

**全てがNEWな生活**  
 何をするのも、自分で手続きしなきゃいけないのは大変ですが、毎日が新鮮で驚きの連続です。政府の支援で学生がステージを作り上げ、全豪で放映される「スペクタキュラー」という事業を紹介され、オーディションを受けて出演しました。3千人のスタッフはみんな学生で、全豪で放送されたり、貴重な経験もできました。「自分で切り開く力」はついてきたかなと思います。



今年7月から2年間フィリピンで教育に従事。

**交流事業、将来のきっかけに**  
**猪名川中学校教諭 采女 由衣さん**  
 海外で働くことは、学生時代から興味がありました。出身市の姉妹都市交流で学生を受け入れられたり、その後起こった同時多発テロを見て、世界とその中の自分を意識し始めたんです。フィリピンのパナイ島には青年海外協力隊として派遣させていただき、小学校の特別支援プログラムのカリキュラム見直しなどに取り組んでいます。日本の教育現場は驚くほど工夫され、勉強しやすい環境なんだと痛感しました。現地の力強い勉強機は授業中の集中力を妨げるため、さっそく模様を取り払ってみました。他にも、猪名川町で学んだことを、現場にどんどん取り入れたいです。提供するだけでなく、帰国後に現地の人々と町の子どもたちが新しい交流ができれば、何か持ち帰れないかと、常に目を光らせています。今後のために知識を深めたいです。  
 国際交流事業は、将来を考えるきっかけにもなります。語学力や対話力を磨き、いざというときに「やりたいことに飛び込める力」を身に付けてください。



ときめきの文化とふれあい  
いながわまつり

# 第49回 いながわまつり

とき 11月3日(祝・木)

午前10時～午後4時(雨天決行)  
ところ 総合公園・文化体育館・生涯学習センター

## 【屋外の部】73団体

ステージ	とき
キャンディーポップバルーンコンサート×ハッピーキッズパーティー	10:05 13:15
動物戦隊ジュウオウジャーショー	11:35 15:15
猪名川源流太鼓	13:55

芝生広場 模擬店・フリーマーケット・野菜の即売など

その他 一般団体発表・献血など

## 【屋内の部】36団体

展示の部 趣味・サークル活動(絵画・書道・生け花・陶芸など)の作品展

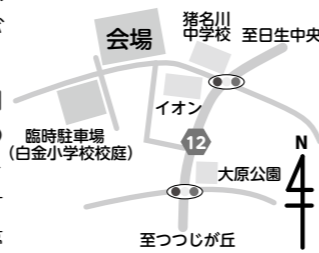
## 【発表の部】24団体

詩吟・舞踊・ダンス・コーラス・楽器演奏など  
その他 歯科検診・読み聞かせなど



## いながわまつり臨時専用バス(無料)

臨時駐車場(白金小学校)は台数に限りがあるため、専用バス、公共交通機関をご利用ください。専用バスの詳細はホームページをご覧ください。※私有地、周辺道路への駐停車はご遠慮ください



▶問合せ いながわまつり実行委員会事務局  
屋外の部 企画協働課(☎766-8783)  
屋内の部 文化体育館(☎766-7400)

# (仮称) いながわ名所 オススメ観光スポット募集

観光客にぜひ観てもらいたい、感じてもらいたい!!

永いときをかけて形成された素晴らしい風景や、季節によって観光スポットとなる場所など、町を代表すると思う風景・景色を募集します。平成29年1月頃に選定し、町の観光振興事業に活用します。



▶申込・問合せ 12月15日(必着)までにホームページ(QRコード)から記入用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ産業観光課(☎766-8709、☎766-7725、✉sangyo@town.inagawa.lg.jp)



# ふるさと納税、 町民向けに特産品お届け開始!

## ふるさと納税制度って?

ふるさと納税制度は、応援したい自治体に寄付をすると、住民税の一部が控除される制度です。

本町のふるさと納税制度「清流猪名川ふるさと応援寄付金」では、寄付者にお礼の品として町の特産品をお贈りしています。



## これまでとどう違う?

今までは町外在住の人からの寄付に対してのみ、お礼の品をお贈りしていました。11月より、町内在住の人からの寄付に対してもお礼の品をお届けし、地元の味を楽しんでもらえるようになりました!

清流猪名川  
ふるさと  
応援寄付金



## 届け!猪名川町の魅力!

町で昔から親しまれている猪肉と町内産の野菜が入った「ぼたん鍋セット」をはじめ、「町内産のお米」や「しいたけ原木」、「天然酵母の石釜焼きパン」などをお届けします!

品目は随時追加予定!町ホームページでチェック!



▶問合せ 企画財政課(☎766-8711)



# 猪名川町の未来を描く高校生フォーラム

あなたがもし猪名川町長だったら～「猪名川町」の魅力を発信するために～

とき 11月10日(木)

午後2時～(受付1時30分)

ところ 社会福祉会館大ホール

参加無料・申込不要

猪名川高校の生徒たちが、町をより良くするために自分たちができることは何かを考え、政策提案を行います。

## 若者の柔軟な発想で、ユニークな提案

1年生の各クラスから選抜された5組がプレゼンテーションを行います。地域の活性化に効果が期待できるアイデアは、今後の政策に反映する予定です。

▶問合せ 企画財政課(☎766-8711)



若者の「地域への想い」に出会える!  
会場へGO!